

ウムチョ ムウイーザ通信 No. 1 2

ルワンダ語で「良い文化学園」の意味を表します。

ウムチョ ムウイーザ通信 (No.1 2号) に寄せて

ルワンダの教育を考える会
理事長 高橋 啓子

清新な気みなぎる4月を迎えました。社会や学校の新しい年度のはじめです。日頃より皆様方のご熱意、ご尽力に支えられ、本会の歩みを進められておりますことを深く感謝申し上げます。

ルワンダの新学期は1月から3月、その後1ヶ月休み、2学期は5月から8月、3学期が9月から11月まででその年度が終わります。

日本とはだいぶ違いますが、おかげさまで、ウムチョムウイーザ学園の運営は、順調に進んでいるようです。新築された4教室を加え、全部で13教室で、それぞれの学習が進められております。詳しい学園内の様子は、3月半ばに帰国した和喜田さんに報告していただこうと思います。それは、次号になる予定ですのでもう少しお待ちください。



さて、さきに発送された本通信のNo.1 1号をご覧になり、さぞ驚かれたことと存じます。本会事務局長飯高さんの退会のご挨拶が掲載されていたのです。「平成18年5月31日付をもって」となっておりました。実は、以前より退会についての話が出ており、理事会を何度か開き、話し合いを相当時間続けてまいりました。しかし、残念ながらこういった結果になってしまいました。ただ退会の時期については、副理事長兼事務局長という、きわめて重要なポストであったので、総会後にお願いしたいと申し上げておりました。

会の発足よりルイズさんを助け、会務を切り盛りされた飯高さんのお働きがあってこそ、皆様方のお力が結集され、今日のような成果が挙げられたと存じております。ですから会としても本当に残念なことですが、いたしかたございません。しかし今後も当然ながら本会は、休みなく活動を続けてまいります。

その第一が、映画「ホテル・ルワンダ」の上映です。2004年アメリカで上映され、アカデミー3部門ノミネート作品、日本での上映に立ち上がった若者、ルワンダの民族紛争が大虐殺に発展した中で、行き場のない罪なき人々をかくまった、1994年のルワンダのホテルでの物語。100日で約100万人もの惨殺に発展した中で一人の父親が1,200人を救った映画に、福島の人たちの心を打つことでしょう。

今後もルワンダの教育を考える会の趣旨をご理解いただき、ご協力をよろしくお願いいたします。

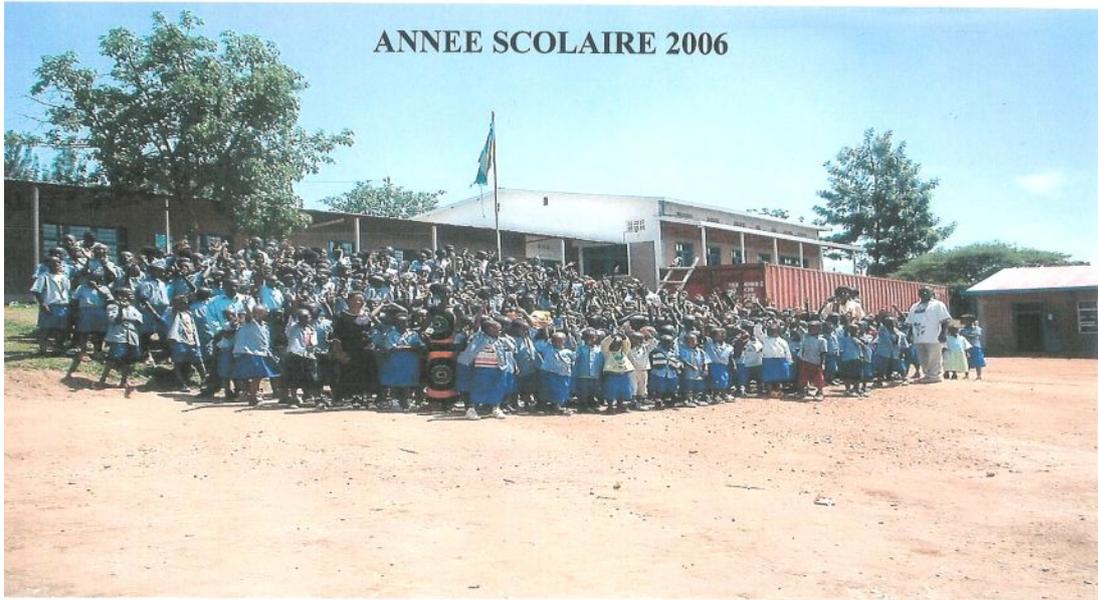


「ADESOC」代表

ウムチョ・ムウイーザ学園チャールズ校長より感謝の言葉

2006年3月31日1学期終了式現在、13教室の中で先生方15名と437名（幼稚園生133名・小学校304名）の子どもたちが学習しております。（1月の受け入れ時には423名でした。）

このことができたのは、協力していただいたすべての方々のおかげです。
大変感謝しております。



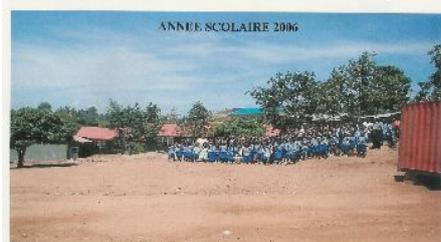
EFFECTIF PRIMAIRE : 304 ELEVES
EFFECTIF MATERNELLE : 133 ELEVES
ET 15 ENSEIGNANTS EN TOUT



外務省NGO支援無償資金協力
により、

4教室建設と全国から寄付された

品々（ピアノ・学用品・
ロッカー等）をコンテナ
につめて送ることが出来
ました。



REMERCIEMENTS

NOUS REMERCIONS TOUS LES INTERVENANTS DANS LA REALISATION DE CETTE OEUVRE
(13 SALLE DE CLASSE POUR ENCADRER 437 ELEVES EN 2006)



ふくしま地球市民フェスティバルに参加して

遠藤信子

アジア・アフリカ・中南米等の「地球レストラン」に参加したルワンダ料理のメニューは、ソース・デ・ビヨンド&ポム・ド・ソティーそしてアマンダーゼ。

郡山地区の支援者が中心となって、昨年の夏からメニューを決め、調理実習を重ね、本番に備えた結果は**大成功！！**

☆ソース・デ・ビヨンド：牛すね肉・玉ねぎ・トマト（缶）・豆を煮込むこと5時間あまり
☆ポム・ド・ソティー（揚げジャガイモ）は、前日より泊り込んだメンバーと早朝より駆けつけた仲間7人で15kgというたくさんのジャガイモの皮をむき、茹で上げ、8時には会場に向けて出発。（この後、会場でじっくり揚げます。）☆アマンダーゼ：ルワンダの家庭的なお菓子

「早朝の作業を前日にしたら楽じゃない？」事前の打ち合わせで提案したところ、ルイズさんは「それではおいしくありません。」というので試してみたところ、味の違いがはっきり。

「これはやっぱり早朝からがんばるしかない！！」と泊まり込みでの下ごしらえとなったのです。

この料理が喜ばれないはずがありません。150食のルワンダ料理は、あっという間に売り切れてしまいました。その他、クッキーやちまき等、支援者からの手作りのおかしも早々になくなってしまい、お手伝いの皆さんは、もう来年のアイデアを出し合っていました。



三春小学校からルワンダへ届いたリコーダー

三春小学校 柳沼富美子



子どもたちが、桜の苗を送ってから2年の月日が経ちました。子どもたちは、6年生となり、社会科で日本の歴史を学習しました。日本もルワンダと同じように、悲惨な戦争があったことを深く学習し、あらためて、平和の大切さを実感できた1年でした。

3年間使い慣れたリコーダーは、中学校では使いません。「ただ、どこかで眠っているよりも、誰かのために使えたら」と子どもたちは考えました。ルワンダの子どもたちが、このリコーダーを演奏している姿を、楽しく音楽を奏でている姿を、私たちはイメージしました。

桜咲くルワンダの小学校で、子どもたちがリコーダーを演奏する。音楽は世界共通です。音楽は世界をつなぎます。心をつなぎます。

1本1本、子どもの名前が刻まれたリコーダー。

三春小学校を巣立った74人の子どもたち一人一人が、

日本人であることを誇りと感じ

世界を考えられる人間であってほしいと思います。

一生懸命に自分のことを考え、

一生懸命に自分のまわりのことを考えられる人であってほしいと思います。

そんな学びのチャンスをルイズさんに与えていただきました。

本当にありがとうございました。



「ホテル ルワンダ」上映案内

争いは何を生むのか、..、？

争いのない世界を、今、あなたから。

上映期間 4月7日(金)～4月23日(日)

上映場所 福島フォーラム

*チャリティつき前売り券 1,200円

*シンポジウム付上映会前売り券
1,500円(4月15日のみ)

*当日料金 一般1,700円

学生1,400円

小・中・高校生・シニア・

障害者は1,000円

○上映スケジュール

月 日	朝	昼	夜
4月 7日(金)			19:00 ～
4月 8日(土)～ 4月14日(日)	10:00 ～	15:00 ～	20:00 ～
4月15日(土)		13:00 ～	
4月16日(日)～ 4月22日(土)	10:00 ～		20:00 ～
4月23日(日)		13:00 ～	

○フォーラム会場にて、ルワンダの写真展及び民芸品販売をいたします。

お手伝いいただける方を募集しております。

お知らせ

4月例会の開催案内

4月22日(土) 13:00～

(財)福島県国際交流協会

福島市舟場町2-1 024-524-1315

本会の運営について、これからの予定等、皆様と話し合いたいと思います。どうぞお誘いあわせの上ご参加ください。

総会の開催予定

本会として、新たな状況に向かって2006年度をスタートさせるためにも、多くの会員の皆様の参加をお待ちしております。詳しくは、あらためてご案内させていただきます。

6月4日(日) 12:00～16:00
場所未定

編集後記
阿武隈川の白鳥も北へ向かって飛び立ち、厳しい冬をのり越えて、活気あふれる春を迎えようとしています。
未来に夢を描き良き春になりますように願っています。

ルワンダの教育を考える会

理事長 高橋 啓子

副理事長 カベンガ・マリルズ

〒960-8252

福島県福島市御山字中川原44-2

サンコーポ1号棟 102号室

TEL/FAX: 024-533-8289

ホームページ: <http://www.rwanda-npo.org>

e-mail: info@rwanda-npo.org

